

# 芸術の森地区町内会連合会

広報

# やませみ



従来、常盤中学校体育館を会場に小・中学校PTAの力を借りて常盤中学校区青少年健全育成推進会の主催で開催してきました。芸術の森地区ふれあい音楽祭の規模と目的を拡大し、芸術文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、連合町内会を主催者に加えて『芸術の森地区音楽祭』と改称して開催し大成功を収めました。

音楽祭実行委員長の中野務氏は「『住民の手づくり』を合言葉に試行錯誤の連続でしたが、役員の燃えるような情熱と、支援を買って出られた常盤中学校の先生方とおやじの会、両小学校バンドの父母のみなさん方、そして地域の皆様のご協力で大成功を収めることができました」と感想を述べています。

お手伝いの大人に感謝する子

第14号

平成12年1月25日

発行 芸術の森地区  
町内会連合会  
印刷 (株) 辻出版社

第4回

# 芸術の森地区音楽祭

第四回芸術の森地区音楽祭が、去る十一月二十七日土曜日午後一時より、札幌芸術の森アートホールで盛大に開催されました。出演団体は小・中学校及び札幌高等専門学校で六団体、一般四団体の十団体が熱演しました。今回は、過去三回の主催者である常盤中学校区青少年健全育成推進会に芸術の森地区町内会連合会が加わり両者の共催で名称も『芸術の森地区音楽祭』と改称し、芸術文化の推進と青少年の健全育成を目的に開催されました。

ども達、そして熱唱に声援と拍手を送る親たち、素晴らしいふれあいの場でした。

反省会で、明年は気候の良い十月頃の日曜日に開催しようと声が出ていましたので是非そなつて欲しいものです。

特に、大切なのは、住民の関心協力と参加意欲です。

今回の経費は、連合町内会と健全育成推進会から十五万円を捻出して開催しましたが、会場等の費用は南区役所と財團法人札幌芸術の森のご協力をいたしました。

## 第5回 芸森地区文化祭開催

恒例の『芸森地区文化祭』が十一月二日、三日の二日間地区会館で開催されました。一日は各町内会長(連町理事)が中心となつて会場作り、五回目となるとなれたもので搬入された多数の出品物を手ぎわよく陳列し約二時間で準備が完了しました。出品作品は昨年よりは少々数が少なかつたが内容は充実しており、書道、絵画、木彫、陶芸、写真、手芸、生花等会場一杯に並べられ、見事な出来映えで、毎回を重ねる度に成長している様子や研鑽している様子

は更に豊かな文化や芸術を感じさせる文化祭になるよう努力して行きたいと思います。



## やませみの眼

▲中学校三年生の女子が「高校に入つて何んで中退するの、馬鹿でないの、その分入りたい人がはみ出しているんだよね、最初から行かなければいいのに」と話していた。

▲その話があつて間もなく、一九九八年度の道内高校の中退者数が文部省より発表された。その数は、公立高校四千二百人、私立高校千七百九十一人、合計五千八百十一人で、退学率の三・〇%は過去最大である。▲退学の理由は、進路変更四・二%、学校生活・学業への不適応三七・四%で道教委は「学校が自分にあわない、などの理由による退学者が増えている」と述べている。公立高校の中退者の五五%が就職しているようであるが残りの四五%の若者はどうなっているのか、大きな問題である。因みに全国では十二万九千三百七十二人が中退している。特に生徒への心理的な圧力は想像以上に大変なものである。そのことが影響して校内全体が不穏になるのはこの頃からである。

▲高校中退の烙印の下で、世を拗た人生を送るのであれば、選択の過ちや、学校不適応では過ごされない。最初から退学を予想して入学したわけではなくうが、退学をする時の心の持ち方が問題なのである。

▲親も、子供も、高校の先生もこれから高校を選ぶ中学生のため、この問題と真剣に取り組んでほしい。(12月13日記)

## 地域を支えた力

## 最初は炭焼から始った! 清水田 正志氏



十一月二十一日(月)、石山八区開拓時代を忘れないようにと町内会員志によって造られた炭焼窯の火入れ式に編集子も招待された。その窯造り、火入れをしてぎわよく指導されていたのが清水田正志氏だった。

入植当時の様々なお話をうかがう為に亀谷石山八区町内会長と一緒に町に生まれ、二十一才のとき単身で渡道、札幌市北八西四に居住し札幌鉄道郵便局に就職した。その後御両親はじめ家族を呼びびて家族となつた。

昭和十六年招集を受け満洲に渡ったが昭和二十年八月終戦をむかえ復員して食料事情の苦しい時に

主でなければ出来なかつたので父親が60歳に隠居届を提出して貰い市役所総務課に家督相続申請を届出て受理され資格を得た上で早速入植を申し込みだ。当時北海道長官の制定した戦後開拓実施要領による北海道第一号「石山開拓帰農団（石山戦後開拓団）」の一員として入植を許可され現在の石山八区に入った。場所は抽選だったという。

開拓団は札幌鉄道郵便局、鉄道開係者、又札幌在住の学校、官庁の入植の為に退職した方々で組織され、佐々敏雄氏、小林磊氏（入植後は田長）らを中心には筆、ペンを鍔鎌に変えて、雨風をしのぐ掘つ立三角小屋を建て炭焼きから出発した。当時炭焼き窯は十三あつたとの事。

この地は農業に適した土地ではなく配給のムギやキビ、開拓の補助等により生計をたてていたが日々の食料にもことなく毎日だった。当時岩は統制品で勝手に売買できず、食べる為に内緒で炭と物々交換により食料品等を手に入れたりしながら道路を造り耕馬、農機具等を導入したり苦闘の連続で現在の石山八区を作りあげて来た。原料の木材が無くなり窯が維持出来なくなつて土地を離ねていった人も多い。

開拓記念碑には二十一名の名が彫られてゐるが二世を含めて残っているのは七軒、当時の人では清水田工志氏只一人です。

氏は現在八十八才、石山八区町会顧問、水道組合組合長。今後も健壯で地区発展のために益々活躍される事を願っています。

見晴町内会長 高橋 登氏



# 南区ハミングフェスタ'99 盛況裡に終わる ——好天、38,000人の人出——

平成11年7月17日(土)・18日(日)の2日間に亘り開催された『みなみハミングフェスタ'99』は快晴にめぐまれ大盛況裡に終了しました。2日間の入場者数は38,000名の記録を作りました。



『みなみハミングフェスタ'99』が藻岩公園を会場に開催され、十七日一万五千名、十八日二万三千名、合計三万八千名の入場者を記録する盛り上がりぶりでした。

出店も昨年と同じく女性団体連絡協議会（女連協）が担当して運営されました。芸森地区女性部も昨年同様フライドポテト販売に活躍しました。

ハミングの決算は、収入予算案八百五十六万四千元に対しても一千五万七千九四円で一四五萬三千九四二円の増収。支出決算は九百四四万七千八六九円で余剰金の六一万〇七三円は連町協へ積立て来年度に使用することに決定しました。

秋の叙勲者が十  
月三日、表された。  
一月三日、付けて登  
場は元陸上競技選手の高橋登会長。五等双光旭日賞を受賞された。



## 介護保険制度茨森地区説明会開催

【介護保険制度】説明会が九月十七日十八時三十分より南区危険福祉サービス主催で開催されました。この制度は今後どうなるか未知数で難解占うるが多い制度です。地区福祉関係者ははじめ役員、個人等八十名以上の参加者がおり、この制度への関心の深さが窺われました。配布されたパンフレットを参考に、担当者の説明をする介護保険の概略、利用のしくみ、サービスの種類、手続き方法、保険の運営者、サービスにかかる保険料、費用負担による介護認定審査判定などについて勉強しました。最後に質疑応答があり約二時間で散会しました。



## 真駒内川・川づくり 意見交換会行なわる

## あの町 この町

昨年は選挙の為例年より遅くなつたが七月九日(金)十七時から芸森地区会館で芸術の森地区懇談会が開催された。南区役所からは藤田辰志南区長をはじめ市民、税務、土木、保健福祉、保健担当各部長と関係関連部署の代表十五氏が出席。地域からは各町内会長、代議員、各団体代表等四十三名が参加し配布されたパンフレットを参考にして関係者からの施策の説明を真剣に聞き入っていた。終りに田口連絡所長より本日出席職員の紹介があった。次いで懇親会に入り各テーブルに別れて配置された職員と各所で話に花が咲き区制

への思いを新たにし時間切れになったが、伴い心を残しながら散会した。

毎年行われている『市民見学会』を昨年も実施しました。

十月七日(木)定刻十時連絡所前を最初の目的地『札幌市定山渓自然の村』に向かって出発した。

参加者二十七名、十時半目的地到着、自然の村へは車の乗入は出来ないので約七百米の散歩

は出来ないので約七百米の散歩緑の中の道が気持ち良い。自然の森は四季折々の自然や動植物とのふれ合いを通じて幼児から高齢者迄、親子や小グループが一緒に楽しく学べる自然体験型の施設、コテージ、テント等も完備され宿泊研修も出来ます。

約五十分の散策のあと第一の目的地『豊平峠ダム』へ向かう。

ここは自然にやさしい電気自

駒岡団地町内会は、東は精進川、西は真駒内川に挟まれた、小高い岡の上で、駒岡清掃工場より南方に奥まつたところに位置し緑り豊かで静寂に包まれた九十七戸で構成された町内会です。

簡単な当町内会の生い立ちに触れますと昭和三十九年十一月に札幌市真駒内第一団農業共同組合長であった唐木田真氏が地域農業の衰退に伴う過疎化の回避と駒岡小学校の存続を目的に、本人が責任者となり宅地の造成及び分譲を行い、これを購入し居住した人達によって昭和四十年駒岡団地自治会が発足しました。発足当初より自治会は団地内の生活基盤の整備に着手してきました。特に記憶に残る事項として昭和六十三年には簡易水道の老朽化に伴い、故障頻度の増加、又、水源地域の開発に伴い水質の確保が出来なくなり札幌市の上水道に切



### 住みよい町へ 生活基盤の改善整備がすすむ町内会

駒岡団地町内会 会長 井 村 恵 之

替を行つたことです。

幾多の難問に何度も頓挫しながらも、粘り強く、住民が対処した賜物でした。さらに下水道設置工事も平成九年十二月には完成その後平成二十年四月には市バス滝野線が延長され団地内を経由する事になり、又市街化調整区域内の規制が一部緩和され、生活基盤

を低下させるような問題についてはその都度対処していく

ますが、現在南陽荘建設(設置主体、札幌石山福祉会、知的障害者更生支援施設)については具体的な事項での合意

に至つておりませんので更に交渉を重ねていかなければなりません。連町南陽荘問題

対策委員会の皆様には日頃の

高齢者は「駒岡寿会」(板垣会長)で会員の親睦、健康作り、ボランティア活動、等新しい生きがいを求めて活動をしております。子供たちは駒岡小学校、真駒内中学に通学しておりますが、駒岡小学

校は本年で開校五十周年になります。十一月六日盛大に記念祝賀会が、とり行されました。記念誌にはこの地域を開拓された先人の苦労が述べられ、当町内会の人達は居住歴は浅いのですが学校の持つ意義を再確認したように思います。

当町内会の役員は課題を解消する為、懸命に努力しておられますので御支援下さい

確認いたしました。

当町内会の役員は課題を解消する為、懸命に努力しておられますので御支援下さい

確認いたしました。

当町内会の役員は課題を解消する為、懸命に努力しておられますので御支援下さい

確認いたしました。

当町内会の役員は課題を解消する為、懸命に努力しておられますので御支援下さい

確認いたしました。

当町内会の役員は課題を解消する為、懸命に努力しておられますので御支援下さい

## 南区芸森地区懇談会開かる

### 市民見学会開催実施報告

動車で往復する。ダムサイトから無人のリフトカーでレストハウスへ、楽しみにしていた昼食ジンギスカン・ホッケ定食+ビールと一刻をぎやかに話の花が咲いた。この夏高温の夏日が続いた為か紅葉が遅く、ダム周辺の山肌は濃い緑が湖面に影を落とすのみ一残念!しかしそれなりに展望台より雄大な景観を楽しんだ。約二時間の自由行動を各自大いに楽しんだところで十三時四十分、第三目的地『滝野自然学園』へ、豊平峡で少々タクシードアーバーした為に時間が無く伊藤会長の説明をバスの中で聞くのみにて通過、最後の見学地『駒岡資源選別センター』へ

工程をビデオで説明を受けたが最新設備による受入、選別搬送、再生設備、集塵設備など目を見張るものがあった。時間が少なく現場見学は出来なかつたが何分にも芸森連町の守備範囲内の事、近い機会に現場見学をしたいと思いつつ帰路についた。

十五時、事故もなく全員無事連絡所到着 御苦労さまと声をかけあって解散した。



### 第5回芸術の森地区大運動会举行す

会と一年を通じ盛り沢山の行事を駒岡町内会と合同で行つております。この他芸術の森道路の市道化及び環境の整備のロードヒーティング化(バ

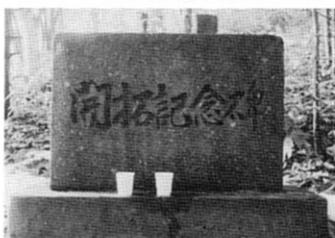
ス路線は実施済み)③団地内道路の市道化及び環境の整備の区間)②団地入口十字路口のロードヒーティング化(バ

ス路線は実施済み)③団地内道路の市道化及び環境の整備の区間)②団地入口十字路口のロードヒーティング化(バ

芸術の森地区町内会連合会の第五回大会運動会が八月二十九日(日)常盤小学校グラウンドで盛大に開催されました。天候も快晴、いやが上にも運動会気分は盛り上がり来ました。

## 郷土の文化財

## 石山戦後開拓20周年記念碑



開拓記念碑

石山八区グリーンハイムの脇を入った凧、小高い山麓に石山神社の分神（昭和四十三年）として石山開拓神社が祭られています。（御祭神・天照大神）。鳥居をくぐり階段を上って行くと向って左側桜の木立の中に三基の石碑がたたいています。

『開拓記念碑』の裏には

（昭和四十年十月三日建立、石山戦後開拓二十周年記念碑は軟石造で三つに割れている。

『豊受大神』碑（裏・昭和二十一年入植石山開拓團、建立昭和二十四年九月二十日）

『馬頭観世音碑』（裏・昭和三十一年〇月十七日建立）

碑は軟石造で三つに割れて

いる。

『開拓記念碑』の裏には

（昭和四十年十月三日建立、石山戦後開拓二十周年記念碑は軟石造で三つに割れている。一名の氏名が刻まれている。

○佐々敏夫 ○清水田正志

○藤本勇

丸山廣

梅田外太郎

○田中百太郎

寺山政助

○武藏弥一郎

福井勝太郎

他2基

ずんでいた。

和二十一年入植石山開拓團、建立昭和二十四年九月二十日）

似鳥己之助

木村光明

吉田喜代治

○渡辺幾太郎

井口政治郎

開拓の歴史を清水田正志

氏にお聞きしました。（地域を支えた力）欄参照下さ

い。

苦楽を共にした人々も次々

と去り現在もこの地に住ん

でいる方は二世を含め〇印

七軒、当時を知る人は清水

田氏一人となりました。

しかし現在この地は石山八区

として世帯数四十一軒、先駆者の開拓されたすばらし

い環境の、そして和幸園、

運動を原動力とする町内会へ

と発展して来ています。

## 健康づくり運動を終えて

「秋の交通安全市民総ぐるみ運動・街頭啓発」実施



十一月十八日、芸森地区会館に於いて、本年の「健康づくり運動」の行事を、開催しました。二日前から冷え込みがきつく、又雪も積もり、どうなることやらと、少々心配しましたが、五十名の参加申込者のうち、四十二名の参加をみました。連町の文化体育部副部長・高橋登様の、御自分の健康づくり体験をはじめた開会の御挨拶のあと、「肩こり」「腰痛」に効く、ストレッチ体操を、汗と笑いの中、しっかりと身体に教えこみました。後半は、体脂肪、肺活量、血圧、握力、垂直とび、全身反応、屈伸、などの測定をして、各々の現在の身体の状態を把握しました。今後の皆様の健康維持に役立つことを願っております。

連町女性部保健部

汚名を返上する為、去る九月二十一日(火)、川沿グリーンホテル前にて南区交通安全運動推進委員会主催の街頭啓発が実施されました。芸森連町からも交通安全指導員など十名が参加しました。

今年も宜敷く御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

## 冬の交通安全市民総ぐるみ運動実施

期間：平成11年12月1日～10日

- ◆ 通年推進事項
  - 1、シートベルトの着用の徹底
  - 2、安全確認の徹底
  - 3、交差点における事故防止
  - 4、自転車乗車中の事故防止
  - 5、夜間の事故防止
  - 6、スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止
  - 7、人にやさしい交通対策の推進
- ◆ 特別推進事項
  - 冬道の交通事故防止



「冬の交通安全市民総ぐるみ運動・街頭啓発」が十二月九日未芸森地区連絡所の前にて行われました。水雨降る中交通安全手旗、幟、横断幕等の掲出により通行車両、歩行者に対しても交通事故防止を訴えました。

雪の降る中、交通安全手旗、幟、横断幕等の掲出により通行車両、歩行者に対しても交通事故防止を訴えました。

今年おめでとうございます。巷間に流説していた西暦二千年問題も何事もなく平成十二年、昭和七五年、紀元二六六〇年、二〇世紀最後の年を迎えるました。やませみ十四号をお届けします。や分にも浅学非才、御不満の点もございましょうが編集子一同夢と希望をもって頑張りますので、本年も宜敷く御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

昨年の夏は近年になく三十度を超える日が二、三日続いたかと思つたら急に寒くなり十七、八度になる日もあり、大根の種播く日定めが非常に難しかったが、例年通りの季節に播いた方が大きくなるにつれて大根の首が腐つたり、大根の芯が変色したりで失敗した方が多かったことを耳にした年であった。

町内の環状道路の芥拾いとか草取り、犬糞拾い等を四月から雪の降るまで手伝わせて頂きましたが、初めは抵抗あつたが何日か続けることによって割り切れる気持ちに変わり毎朝巡回しないと一日が始まらない心境になりました。今年十月十八日から四泊六日の旅を生まれて初めてハワイに行って一番先に感じたことは気温は二十九度にも拘らずホテルの窓を開けて居ても蚊ハエ、虫らしきものが一匹も入ってきて来ないのに驚きました。又外を散歩してもジース、ビール等の空缶の散乱もなく外を歩いても清々しい気持ちで土産品を探し歩きました。又煙草の吸い殻も全く目にするとは出来ませんでした。最近、我が国になくなって急速に環境問題に取り組む必要があると思われる。



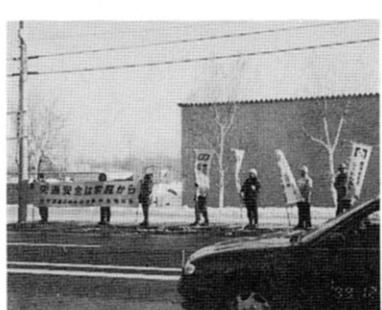
## 札幌市常盤児童会館七周年記念もちつき大会

### 盛会裡に終了

十一月十二日(日)常盤児童会館(三好達也館長)主催、芸森地区青少年育成推進協議会、同地区子供会連絡協議会協賛で常盤児童会館七周年記念もちつき大会が行われた。

参加者は子供一四一名、児付添等の大人数、合計二二三名の出席を得て非常に盛大な大会が行われた。

子供達の楽しそうな顔が印象的でした。



## 「冬の交通安全市民総ぐるみ運動、ファイナル啓発」実施

十二月十日(金)川沿グリーンホーリー前で南区各地区交通安全推進団体及び関係団体合同により「ファイナル街頭啓発」が実施されました。芸森連町から十名参加しました。

今年おめでとうございます。巷間に流説していた西暦二千年問題も何事もなく平成十二年、昭和七五年、紀元二六六〇年、二〇世紀最後の年を迎えるました。や分にも浅学非才、御不満の点もございましょうが編集子一同夢と希望をもって頑張りますので、本年も宜敷く御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

昨年の夏は近年になく三十度を超える日が二、三日続いたかと思つたら急に寒くなり十七、八度になる日もあり、大根の種播く日定めが非常に難しかったが、例年通りの季節に播いた方が大きくなるにつれて大根の首が腐つたり、大根の芯が変色したりで失敗した方が多かったことを耳にした年であった。

町内の環状道路の芥拾いとか草取り、犬糞拾い等を四月から雪の降るまで手伝わせて頂きましたが、初めは抵抗あつたが何日か続けることによって割り切れる気持ちに変わり毎朝巡回しないと一日が始まらない心境になりました。今年十月十八日から四泊六日の旅を生まれて初めてハワイに行って一番先に感じたことは気温は二十九度にも拘らずホテルの窓を開けて居ても蚊ハエ、虫らしきものが一匹も入ってきて来ないのに驚きました。又外を散歩してもジース、ビール等の空缶の散乱もなく外を歩いても清々しい気持ちで土産品を探し歩きました。又煙草の吸い殻も全く目にするとは出来ませんでした。最近、我が国になくなって急速に環境問題に取り組む必要があると思われる。

雪の降る中、交通安全手旗、幟、横断幕等の掲出により通行車両、歩行者に対しても交通事故防止を訴えました。